

産学連携フォーラム（日本技術士会との合同セッション）

震災に対する安全・安心を目指して

開催主旨

東日本大震災では未だ傷跡が癒えない状況にあります。特に、福島原発の処理には深刻さを増しております。南海地震が懸念されている今日、安全・安心な町づくりは急を要する課題となってきました。そのような折、日本機械学会誌 2013 年 10 月号では大地震に備える一耐震・免震・制振への機械技術開発の特集号が組まれました。「震災に対する安全・安心を目指して」は日本機械学会、日本技術士会等専門集団が総力を結集して取り組むべき課題です。

そこで、材料力学部門で毎年開催されてきたM&M2014カンファレンスでは日本機械学会と日本技術士会の合同セッションとして標記のタイトルで2014年7月20日に福島大学で開催致したいと考えております。関係者の英知を絞った先端技術の一端を紹介したいと思っております。本フォーラムは市民フォーラムとして会員以外の方にも公開しておりますので、市民の皆様の参加をお待ちしております。

このフォーラムではセッションを3パートで構成して、パートⅠでは東日本を襲った大地震の特徴、及び耐震技術の現状について展開し、パートⅡでは安全・安心を目指したロボットの開発状況についての基調講演を予定しております。パートⅢでは安全・安心な町づくりに欠かせない免震・制振技術の開発状況について予定しております。講演終了後に、市民の皆様にご参加頂き総合討論をおこないます。よろしくお願いいたします。

7月20日（日）（第2日）

第5室

SF 産学連携企画「震災に対する安全・安心を目指して」技術士会

14:40-14:45 主催者挨拶

SF-1 パートⅠ 地震動と安全・安心のための耐震技術の現状

14:45-15:45 掛川昌俊（日本技術士会）

SF02 地震動について

森川信之（防災科学技術研究所）

SF03 2011年東北地方太平洋沖地震による地震動の工学的な特徴

中村 晋（日本大学工学部，土木工学科教授）

SF04 「東日本大震災」被害の特徴と復興の課題

吉川謙造（技術士（土木・建築部門），東北本部長）

SF05 実際に復興の仕事に携わっての現場からの提言

石井久克氏（一級建築士，SD設計研究所代表）

SF-2 パートⅡ 基調講演

15:50-16:30 大丸讓二（日本技術士会）

SF01 「安全・安心を目指したロボットの開発」

講師：野波健蔵氏（千葉大学副学長，教授）

SF-3 パートⅢ 大地震に備える技術開発

16:30-17:30 大丸讓二（日本技術士会）

SF06 安全！！でも安心できない！！

山下六男（技術士（建設部門／建設環境））

SF07 室温超塑性 Zn-Al 合金制振ダンパー

櫛部淳道（竹中工務店技術研究所，先端材料グループ長）

SF08 免震装置

荒水照夫（技術士（機械部門），オイレス工業免制震事業部）

SF09 制振デバイス（アクティブ式制振装置による地震対応への取り組み）

小池裕二（I H I 技術開発本部基盤技術研究所，主幹研究員）

17:30-17:45 総合討論